

MT用シンクロナイザーリング

中国で設計・開発

協和合金

【横浜】協和合金（横浜
市金沢区、高島真澄社
長、045・772・1
331）は2010年春
に、中国の生産拠点に設
計・開発機能を設置す

る。主力である手動変速
機（MT）用シンクロナ
イザーリングの新製品提
案を円滑に進めるため、
これまで日本から人員を
出して対応していた技術
交渉を現地でも随時可能
にする。
中国の生産拠点、武漢
協和齒環（湖北省武漢
市）が生産しているシン
クロナイザーリングは、

日本で基本設計し、異な
る細かい設計は取引先の
商談ごとに日本から人員
派遣していた。

ただ中国では地元資本
メーカーからの受注が急
増しており、新技術への
ニーズも高まっている。
このため日本人技術者を
2人常駐させてリングの
設置角度やサイズの微調

整などで折衝する機会を
増やす。

協和合金は国内の増産
が見込めないことから、
中国事業を収益源として
育てる。武漢協和のシン
クロナイザーリングの生
産量は現在、月間150
万本。10年には同180
万本に増加する見込み。
春以降は需要増を取り

込むため、中国の主要自
動車メーカーに対して営
業活動し、新型車や既存
車種への採用を提案し
た。

今後も受注増が見込め
ることから生産拠点の新
設も検討する。既存工場
には拡張余地が無いた
め、近く用地の選定作業
に入る。

自動車